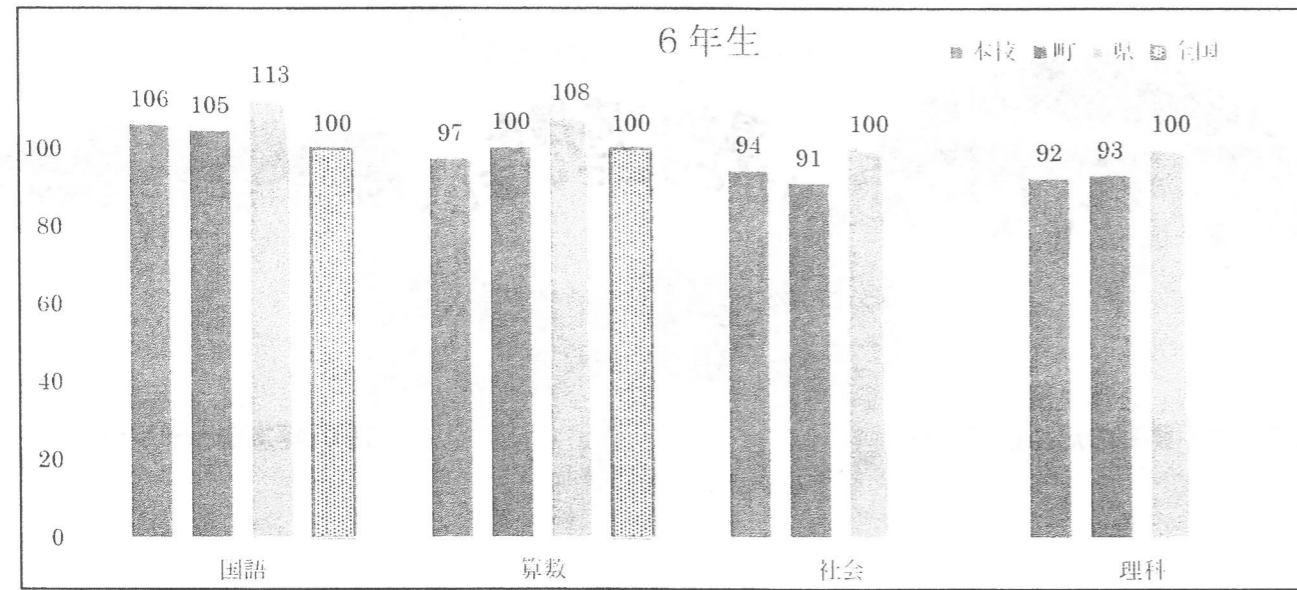
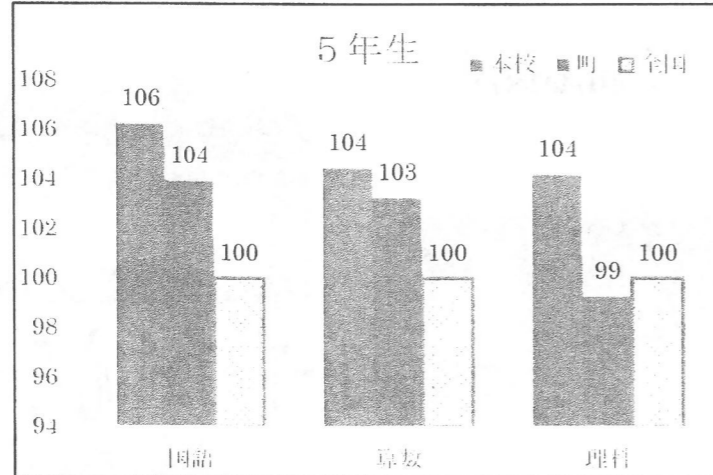
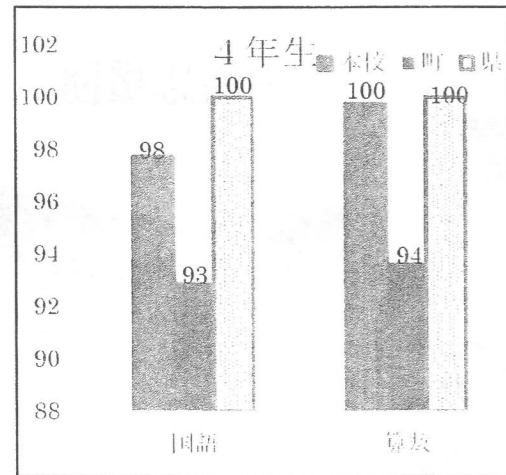


# 令和元年度 学力調査結果報告 (Part.1)

4月に全国の6年生を対象にした全国学力・学習状況調査(国語・算数)と、4年生と6年生を対象にした石川県基礎学力調査(4年生:国語・算数, 6年生:社会・理科)の結果がまとまりましたのでお知らせします。また、町独自に、5年生を対象とした学力調査(国語・算数・理科)も行われましたので、あわせてお知らせします。

※昨年度までは、6年生の国語・算数は「基礎的な内容」のA問題、「思考力」や「活用する力」をみるB問題に分かれていました。現在「主体的・対話的で深い学び」が国の方針として打ち出されており、基礎知識と思考力などを一体的に問う出題に統一することが考え方に沿うと判断され、ABの両方の要素が含まれた問題になりました。

※縦軸の数値は、5年(国算理)・6年(国算)は全国平均、5年(社理)・4年は県平均を100とみたときの数値です。



## 【教科毎の良い点及び課題】

教科	分析結果
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○条件に合った文章を書くことができる。</li> <li>○漢字の読みは良好である。</li> <li>△文章構成が理解できないため、段落を複数のまとまりに分けることが難しい。</li> <li>△漢字の書き取りが苦手である。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石川県の自然や交通などの地域問題を理解している。</li> <li>○消費者の願いと店の工夫について、資料を活用する技能や社会的な思考力が高い。</li> <li>△自動車の生産工程や関連工場の仕事についての理解が弱い。</li> <li>△火事が起きた時の協力・連携体制についての理解が弱い。</li> <li>△折れ線グラフが正しく読めない。</li> </ul>

教科	分析結果
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な問題の正答率が高く、基礎基本が身に付いている。</li> <li>○分度器で正しく角度を読み取ることができる。</li> <li>○コンパスの使い方を理解している。</li> <li>△表やグラフの読み取り力が弱い。(表では二次元表を読み取る力、グラフでは複数のグラフを資料の特徴や傾向から読み取り、それらを根拠に理由を説明する力が弱い。)</li> <li>△分数の意味と表し方についての理解が弱い。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○用語を求めるような知識・理解問題はよく解けている。</li> <li>△事象と方角の関係を正しくとらえていない。</li> <li>△記述で答える問題について、正答率・回答率が下がる。</li> <li>△科学的思考が浅く、深い理解に至っていない。</li> </ul>

学力学習状況調査結果は、子どもたちのもっている力の全てを表しているものではありません。しかし、子どもたちの強味や弱味を把握するための貴重な資料となるものです。この調査を行うことにより、強味をさらに伸ばすことや弱味を少しでも克服させるための授業改善につなげなければなりません。結果を分析し、有効に活用して子どもたちの学力を伸ばしていきたいと考えています。

紙面の都合により、質問紙調査結果と今後の取り組みについては次回の学校だよりに掲載させていただきます。

## いじめのない学校づくりに向けて

学校だより9月臨時号でお知らせした保護者アンケートの結果の中で、「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。」という項目がありました。あまりあてはまらない：4%、あてはまらない：1%という厳しいご意見を真摯に受け止め、一層の努力が必要であると教職員全員で共通理解しました。また、わからない14%という結果については、取組の説明の不十分さを反省しております。10月にも下記の取組が行われます。いじめのない学校づくりに向け、取組を継続していきますので、ご理解ご協力をお願いします。

- 1日～5日 ハートアンケートの実施(原則、相談アンケートの未実施月に最近の気持ちや、いじめられていないかの確認を書き易い形式で記入→記入した児童と担任が個人面談し確認)
- 相談アンケート 中下旬に実施(相談したいことの有無やいじめについての意識等も細かく調査→アンケートをもとに、担任が全員と個人面談を実施し、更に詳しく聞き取る。)
- ◎両アンケートで個人面談し、いじめの疑いがあれば「いじめ問題対策チーム」で協議し、対応策を検討する。

10月20日(日)  
資源回収があります!

今年度第2回目の資源回収が、10月20日(日)に行われます。

前回も、保護者・地域の方にご協力いただき、たくさんの収益が上がり、一部は図書館の本の購入等に使用させていただく予定です。本当にありがとうございます。今回も、ご協力よろしく申し上げます。詳細につきましては、後日改めてお知らせします。

## 赤い羽根共同募金について

赤い羽根共同募金の活動が、15日～17日にプログラム委員会を中心に取組まれます。この募金は、「自分の町を良くする仕組み」であり、様々な地域福祉活動に役立てられています。(約3割は県内で、約7割は津幡町内で使われます。例: ボランティア団体や老人福祉団体、学童保育などへの活動補助や備品購入補助等) 活動を通して、子どもたちが身近な福祉を理解するとともに、ボランティアとしての意識や助け合いの精神を育んでくれることを願っています。募金活動は、自分の町の役に立つことであり、自分たちを応援することにもつながることを、ご家庭でもお話していただければ幸いです。よろしく申し上げます。